

着地型観光って何？ → 着地型観光が地域を変える

現在、全国各地では地域資源を活用した観光振興が取り組まれています。ほとんど成功していないのが現状です。その中で観光振興の課題の一つとして、変化する旅行ニーズに対して訪れる目的を明確に示すことができなかつたことが挙げられます。

現在の観光客は、より能動的なサービスを求め、これまで以上に交流や体験、ホスピタリティに価値を見出すようになってきました。また、従来からの観光地とは違う田舎や普通の町などの魅力に対するニーズが高まっています。

一方、地域においては従来の観光資源に依存せず、地域の特色ある資源を活用した新たな顧客価値の創造が求められています。

近年、観光に大きな変化が現れ、着地型観光等のニューツーリズムと呼ばれる観光形態が注目され、今まで観光地として認知されていなかったトコロ・モノ・コトに注目が集まるようになってきました。

これまでの観光は、観光客の出発地にある旅行会社が自社の都合で目的地とコースを設定して集客し、旅行を催行する形態でした。ところがお客様ニーズと合わなくなり、より「ほんもの」が求められるようになってきました。着地型観光は目的地である着地側が地域ならではの資源と素材、体験交流を提供することにより、旅人を呼び込み、交流人口拡大による地域活性化を図ることを目的としています。



「オクシズツーリズム・ビジネスカレッジ」は単に観光商品や体験交流プログラムを開発するだけでなく、地域にあるさまざまな資源（＝宝物）を掘り起こし、地域の魅力を認識する楽しさと、地域外の人に知っていただく喜びから生れる「地域の愛着と誇り」を育てるという着地型観光の本質を理解していただくために、6月から来年2月までをかけて、人材育成や必要なノウハウなどを学んでいただくための勉強会です。

今一番、地域に求められているのは「視点を変える」ことです。また、発展と未来に向かうカギになるのは着地型観光の推進です。着地型観光は新しい価値の創造で、新しい「地域

のカタチ」をつくる「まちづくり」そのものです。

観光交流は地域活性化の切り札であることを共通認識し、できることから一歩ずつ具体的な行動を起こしていきましょう。

多数のご参加をお待ちしています。



オクシズプロジェクト
総合プロデューサー **田淵 正人**

静岡市委託：(株)レイライン
内閣府地域活性化伝道師
中山間地着地型観光推進事業
オクシズプロジェクト総合プロデューサー
田淵 正人

◆◆ オクシズツーリズム・ビジネスカレッジ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

奥静岡4地区における独自の個性・魅力（自然・産業・歴史・文化など）を活用した観光まちづくりの理念を理解し、地域経営の考え方と知識を持って地域活性化を担う人材を育成するとともに、地域間や業種間交流など様々な交流・体験の場を提供することを目的としています。

- 研修は毎月1回の全9回で、第1回と9回は全体で、第2回から8回は各地域で開催する予定です。開催日は週末（土曜日または日曜日）で、約2時間の勉強会となります。
- 原則として、すべてのプログラムを受講していただきますようお願いいたします。ご都合により他地区での受講は可能です。

■プログラム概要

観光の基本を学ぶ	6月	◆開校式・オリエンテーション ◆座学 「観光の基礎知識」、「観光市場動向の理解・分析」
	7月	◆座学・グループワーク 「着地型旅行商品造成と検証」、「地域コーディネーターの役割」
役割の認識	8月	◆座学・グループワーク 「体験プログラム造成」、「ガイド・インストラクターの役割」
資源の見直し	9月	◆フィールドワーク 「体験プログラムの検証・確認」、「地域資源発掘・調査・分析」
ツアー受け入れ検証	10月	◆ツアーの実施・グループワーク 「ツアーの検証」、「課題の整理と解決」
	11月	◆ツアーの実施・グループワーク 「ツアーの検証」、「課題の整理と解決」
情報発信	12月	◆座学・グループワーク 「プロモーション・マーケティング戦略」、「プレゼンテーション」
まとめ	1月	◆座学・グループワーク 「観光ブランド戦略」、「地域受け入れ体制整備」
	2月	◆座学 「成果発表」、「終了式」

◆3月・・・『全国ほんもの体験フォーラム』in徳島 参加